

空気除菌機Bio Zone Q&A (1)

Q.1 オゾンガスによるウィルスの抑制効果はあるのか？

A.1 藤田医科大学の村田教授が人体に安全な低濃度オゾンガス0.05ppmで新型コロナウイルスの感染性を抑制する効果がある事を発表されました。

Q.2 人体に影響のないオゾン濃度は？

A.2 作業環境基準としてのオゾン許容濃度を0.1ppmと勧告しています。Bio zoneの排出濃度は0.1ppm以下となっております。

Q.3 Bio Zoneの除菌メカニズムとは？

A.3 本体背面の吸気口より空気中に浮遊している細菌・ウィルスを吸い込んで除菌し、正面排気口よりオゾンを発生させて空気中の細菌・ウィルスを抑制させる循環作用によるW効果の働きがあります。

Q.4 UVランプより照射される紫外線で185nmと254nmの2種類あるのが特徴とは？

A.4 185nmの紫外線照射によりオゾンを発生させて、254nmの紫外線照射による殺菌作用で、菌やウィルスの増殖を阻害しています。

Q.5 ウィルス関連のエビデンスはあるか？

A.5 インフルエンザウィルスでの不活化実証実験は御座います。

Q.6 Bio Zoneの換気性能は？

A.6 30分で50m³を換気します。
KZ-1000の適用床面積は10～50m²で、KZ-2000は20m²～70m²です。

Q.7 設置に関する推奨場所は？

A.7 オゾンの比重は空気の1.5倍あるので、出来るだけ高い位置での設置を推奨しております。

また背面より吸い込み、正面より排出するので、出来るだけ機器の前後に隙間を設けて下さい。

また長時間の密閉状態や空気循環の出来ない場所では使用を避けて下さい。（稀にオゾン濃度が上がり基準を超える場合がある為）

Q.8 KZ-1000とKZ-2000の違いは？

A. 8 UVランプの仕様が違うだけで、本体の大きさや吸引力は同等です。

Q.9 臭いはしますか？

A. 9 狭い空間場所や密閉状態が長時間続く環境では、オゾン臭が発生しますので、定期的な換気や強度の調整をお願いします。

Q.10 作動中の音はしますか？

A. 10 ファン速度は高・中・低の3段階切り替えですが、高でも静音です。

Q.11 吸気口の掃除は必要ですか？

A. 11 ホコリが溜まった際は掃除機等で吸って頂く方が良くと思います。

Q.12 UVランプの交換時期及び交換方法は？

A. 12 ランプの寿命は8,760時間（約1年間）です。アラートは出ませんが、正面中央の青ランプが消えると交換が必要となります。また交換方法は取扱説明書に同梱されています。

Q.13 アフターサービス問い合わせ先は？

A. 13 保証とアフターサービス、相談窓口に関しては、製品と一緒に同梱しております。

Q.14 ステッカーが同梱されているとの事ですが？

A. 14 「紫外線のチカラでウィルスを抑制」「感染症対策実施中」を記載したステッカーを同梱しておりますので、ご活用下さい。

Q.15 花粉症等アレルギー対策としての効果はありますか？

A.15 Bio Zoneが発生させるオゾンガスにはカビダニの生態を破壊したり、忌避させる効果があります。また花粉表面の細胞膜に酸化反応を引き起こし、花粉自体を不活化させる効果も御座います。但し、フィルター付き空気清浄機と異なり、花粉やハウスダスト自体の集塵機能は御座いません。
